

謹賀新年



◎もくじ (2013年1月号)

- | | | |
|-------------------------------|---------------------------------|---|
| 2 新年のごあいさつ | 8 まちのわだい | 16 お知らせ |
| 4 芦北町長選挙 竹崎氏無投票3選 | 12 町県民税申告のお知らせ
/ 申告受付日程 | 18 警察署 / 消防署 |
| 5 2012年を振り返る | 14 保健センターだより
/ 芦北マラソン大会結果 | 19 書道・短歌 / 出生・おくやみ |
| 6 大相撲尾上部屋芦北合宿
/ あしきた写真フェスタ | 15 芦北に残る文化遺産
/ 景さんの芦北チョアチョア記 | 20 芦北うたせマラソン大会
/ 第3回グリーンカーテンコンテスト
/ 美術館だより / 湯の香ぎゃらりー |
| 7 カンボジアスタディツアー
/ 人権の花運動 | | |



芦北町長 竹崎一成

誇りと喜びが持てる魅力ある
まちづくりを推進します

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。
町民の皆さまには、健やかに新しい年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

早いもので平成17年1月に新「芦北町」が誕生してから丸8年が経過しました。おかげさまをもちまして順調な行政運営を行うことができております。これもひとえに、芦北町

議会をはじめ町民の皆さまの町政への深いご理解とご協力のたまものであり、衷心より厚く感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、ロンドン五輪で本町出身の藤井瑞希選手がバドミントン女子ダブルスにおいて、日本バドミントン界初となる銀メダルをもたらす快挙を成し遂げてくれました。そのプレーは夢と希望そして活力を芦北町民のみならず日本中に与えてくれました。この功績に対

し芦北町町民栄誉賞第1号を授与しました。また、町有地である矢城牧場跡地と女島埋立地の2カ所に熊本県内最大規模となるメガソーラー発電施設を誘致しました。予定通り工事が進めば2年後には2施設合わせて2万9,500キロワットの電力出力能力を持つ施設が完成します。完成後には環境学習の拠点としても期待されています。

一方、7月に発生した集中豪雨は床上・床下浸水被害が多数発生し、そのほかにも道路陥没や崩落、農地における土砂災害など甚大な被害をもたらしました。この自然災害に対応するため浸水被害が頻発していた計石、白岩、湯浦北地区に念願の水機場が完成し、増水時にはその能力を遺憾なく発揮しております。

12月に行われた芦北町長選挙において無投票で3選をさせていただきました。皆さまからのご意見、ご提

案をいただきながら、初心に帰り、積極的にまちづくりを進めていく決意を新たにしているところです。私は、町長就任以来、一貫して町民の皆さまの声を大切に「すべては子どもたちのために」をモットーに「品格ある安全・安心のまちづくり」を目指し、地域間競争に打ち勝つ足腰の強いまちづくりを推進してまいりました。今後も引き続き、「個性の光る活力あるまちづくり」を町政の柱とし、皆さまとともに芦北町に住むことに誇りと喜びが持てるような魅力あるまちづくりを推進するため全力を傾注してまいります。

今後とも町政へのより一層のご支援とご協力を賜りますとともに、本年が町民の皆さまにとりまして輝かしい年となりますよう祈念致し、まして、新年のごあいさつとさせていただきます。



藤井公明 議会議員

町の更なる飛躍を目指して
最善を尽くします

新年明けましておめでとうございます。
町民の皆さまには、輝かしい新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

芦北町第三代議長として、更に一昨年より熊本市議会議員として、三十七代議長に就任以来、町政の発展と円滑な議会運営のために誠心誠意努力してまいりました。その間、皆さまからいただきました暖かいご理解とご協力に対し厚くお礼申し上げます。

本町は、合併して8年を経過致しましたが、新「芦北町」も着実な発展を遂げてまいりました。新たなまちづくりの方向性と将来構想を示した、「個性の光る活力あるまちづくり」を基本理念とし、「すべては21世紀を担う子どもたちのために」をテーマとした施策を展開するにあたり、町民の皆さまのご支援ご協力を

賜り、心から感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、年末に行われました芦北町長選挙におきまして、竹崎町長が無投票で3選を果たされました。更に活力ある新たなまちづくりに向かって町政を進めていただきますようご期待を申し上げます。また、8月に開催されました口下藤井瑞希選手がバドミントン女子ダブルスにおいて、日本バドミントン界初となる銀メダルを獲得し、町民に感動と勇気を与えてくれました。

一方、国政におきましては、東日本大震災後初めてとなる衆議院選挙において、自由民主党が圧倒的多数の議席を獲得し圧勝しました。新政権におきましては、景気対策、社会保障と税の一体改革、エネルギー政策など喫緊の問題も山積しており、国民の期待に応える対策が推進され

るよう願うものです。

地方自治体におきましては、今後最も厳しい財政状況に加え、人口減少、少子・高齢化が進み、次世代に一層負担がかかることは明確であり、行政改革に努め、効率的な財政運営を強力に推進していかねばなりません。

芦北町議会におきましては、地方分権が進展する中、町民と行政が一体となって地域の特性を生かしたまちづくりを進めていくことが必要です。議会は、民意の反映が失われることがないよう決意も新たに地方自治の振興・発展に向け、鋭意努力し、町の更なる飛躍を目指して最善を尽くす所存です。

結びに、今年一年が町民の皆さまにとりまして、幸せ多い素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

昨年もたくさんの出来事が町内でありました。広報あしきたに掲載した記事をもとに振り返ります。

2012年の出来事を振り返る



計石小 138年の歴史に幕
明治7年に開校した計石小の閉校式
(2月25日)



葦北鉄砲隊 県民文化賞受賞
平成15年に結成された隊が短期間の活動で異例の受賞(2月28日)



クマモトオイスター出荷
芦北町で約2,000個の養殖に成功し、初出荷(3月12日)



学校給食センター落成
これまでより衛生的で作業効率に優れた給食センターが完成(3月27日)



湯北地区排水機場完成
念願の排水機場が完成(5月17日)。計石、白岩地区でも完成



田浦で天然マグロ捕獲
松ヶ崎港で210kgの天然クロマグロを元村隆政さんらが捕獲(6月7日)



7月12日豪雨災害
床上床下浸水をはじめ河川や道路、農地などに甚大な被害が発生



道の駅「大野温泉」開駅
芦北の魅力発信する施設として開駅(7月20日)



ゆめもやい落成
水俣病被害者や地域住民の交流の場として女島埋立地に完成(7月24日)



メガソーラー発電施設誘致
矢城牧場跡地と女島埋立地に県内最大規模を誇るメガソーラー発電施設を誘致。町、県、事業者が協定調印(7月24日)



「フジカキ」五輪で銀メダル
ロンドン五輪バドミントン女子ダブルスで藤井瑞希選手が銀メダルを獲得(8月4日)。芦北町町民栄誉賞第1号を受賞(10月6日)



ブータン王国から研修員
世界一幸福度が高いと言われているブータン王国から2人の研修員を受け入れ(10月11日～11月6日)



▲坂本義博芦北町選挙管理委員会委員長から当選証書を受け取る竹崎氏(右)

芦北町長選挙 竹崎一成氏無投票で3選

任期満了に伴う芦北町長選挙は12月18日に告示され、現職の竹崎一成氏の他に届け出はなく、竹崎氏の無投票での3選が決まりました。当選に伴い、12月25日、当選証書付与式が芦北町役場で行われました。任期は1月23日から4年間となります。

◆品格ある安全安心のまちづくり

当選証書を受け取った時、身の引き締まる思いがしました。町民の皆さまの重い期待や願いがこもっているものと感じました。町民の皆さまのために身を粉にして頑張ります。町民の皆さまが安心して暮らせる品格あるまちづくりをさらに進めてまいります。

◆将来を担う子どもたちのために

昨年、子ども医療費(保険適用分)の一部負担金の全額を助成する対象者を中学3年生から18歳まで引き上げました。これはできそうでなかなかできないことです。県内で恒久的に実施している市町村は本町以外にありません。健全

財政だからできることです。教育の分野で目指すのは子どもたちに基礎教育をしっかり身につけさせることです。基礎学力を県平均よりも上位まで持っていかなければなりません。成果が出るまで時間がかかりますが、芦北町出身者と自信と誇りを持って言えるような町をつくっていききたいと思っています。

◆地域資源を生かす

町の基幹産業である第一次産業の振興を引き続き推進します。人的資源を含め、限られた地域の資源が有形無形たくさんあります。それらを掘り起こして磨きをかけて、町内外に発信していきたいと思っています。

◆次の10年へ向けて

芦北町が合併して8年が経ちました。合併時に策定した新町建設10年計画が終期を迎えます。これまでの計画を検証し、次の10年への新たな戦略を掲げ、町民の皆さまに示していきたいと考えています。初心に帰って、満足いただける行政を心掛けてまいります。

初場所前に芦北で稽古
大相撲尾上部屋芦北合宿

大相撲尾上部屋が12月6日から11日まで町交流センターで合宿を行いました。十両の天鏡鵬関や里山関など5力士が合宿に参加。11月の九州場所を途中休場した把瑠都関はけがの治療のため、今回の合宿には参加しませんでした。

稽古後には見学に訪れていた保育園児らと交流しました。「怖いよー」と泣きじゃくる園児もいましたが、力士を土俵から押し出そうと歯を食いしばって懸命に向かう園児もいました。12月8日に同センターで行われた歓迎会では



▲力士と相撲をとる園児たち

竹崎町長が「把瑠都関は10勝以上を挙げて大関に返り咲いて欲しい。他の力士の皆さんも芦北町で十分な練習を積み、勝ち越し目指して頑張ってください」とあいさつ。尾上親方は「芦北町の皆さんには物心両面ご支援いただいで感謝しています。相撲を通して芦北町の皆さんに元気を出していただき、私たちも芦北町での合宿が1月の初場所につながるよう頑張ります」と抱負を語ってくれました。

12月9日に実施されたふれあい交流会では、しょうゆ味とカレー味の2種類のちゃんこ鍋が販売され、おいしいとおかわりする来場者もいました。



▲交流会で力士特製のちゃんこ鍋の販売がありました

写真を撮る、触れる、聴く
あしきた写真フェスタ

写真を通して新たな視点で地域社会を見つめ直し、地域づくりにつなげようと12月8、9日の両日「あしきた写真フェスタ」(芦北町、あしきた写真フェスタ実行委員会主催)が開催されました。今回で2回目の開催となります。

メイン会場の女島活力推進センター(ゆめもやい)では本町在住の今岡昌子さんをはじめ、国内で権威ある写真賞の土門拳賞を受賞した土田ヒロミさんなど著名な写真家4人による写真コンテストの公開審査やワークショップなどが



▲写真コンテストの審査をする今岡さん(左から3人目)ら写真家の皆さん

行われました。写真コンテストは8日に行われた写真撮影ツアーの参加者がバスで芦北町内の撮影スポットを巡り、撮影したものを審査しました。サブ会場の薩摩街道佐敷宿交流館「榎屋」ではアマチュア写真家の写真展示や芦北の昔の風景を写した原像展がありました。

土田さんは「土田ヒロミのニッポン」と題した基調講演を行い、31歳で写真を始めてからこれまでどういう思いで写真を撮影してきたのかなどをスライドを使って紹介し「写真はメッセージを持っていて上手に使ってください」と話してくれました。



▲ワークショップで個別にアドバイスする土田さん(左)

カンボジアで貴重な体験
カンボジアスタディーツアー

12月24日から29日までの5泊6日の日程で町内の小学生11人、中学生3人、大人8人の総勢22人でカンボジアスタディーツアーが実施されました。芦北町と芦北町国際交流協会が実施している「カンボジアに学校を贈る運動」への理解を深めるために行っているもので今回で2回目となります。8月下旬にツアーを実施する予定でしたが、カンボジアで手足口病がまん延していたため延期していました。流行が収まったため今回の実施となりました。



▲交流会でリコーダーを演奏する芦北の子どもたち



▲派遣団と今村学校の生徒で記念撮影

施となりました。これまでに贈呈した4校の学校のうち3校目、芦北ひまわり小学校を訪れ、交流会を行いました。内戦の悲しい歴史を持つトゥールスレン博物館の見学、国際協力機構カンボジア事務所での国際貢献の学習会、孤児院での交流、世界遺産アンコールワット群の見学など充実した時を過ごしました。団長を務めた町国際交流協会の宮島博美副会長は「子どもたちは普段でできない貴重な経験や体験ができました。このことを生かし国際感覚を身につけた人に育ってほしいです」と感想を話してくれました。

人権の花の種
日本全国に広げ

花を育て、やさしい心を育む「人権の花運動」に5月から取り組んでいる佐敷小学校で、12月11日、終了式が行われました。

これはくまもと県南人権啓発活動地域ネットワーク協議会が小学校に花の種を配布し取り組んでいる事業です。児童が協力しながら花を育成することを通して感謝することの大切さや、やさしい思いやりの心を育むことを目的としています。5月にひまわりやマリーゴールドなどの花の種を佐敷小に



▲種とメッセージを付けた紙風船を大空に放つ児童

贈呈していました。佐敷小ではその種を植え、全校児童で大事に育て、花の種を採取しました。

種は児童が書いたメッセージと一緒に色とりどりの350個の紙風船に付けました。種を付けた紙風船を思いやりの心が日本全国に広がるようにと全校児童が大空に放つと紙風船は空高く舞い上がっていききました。

風船を飛ばしてから3日後、「私は花が大好きです。大事にして必ず咲かせます。ありがとうございます」と宮崎市の人から心のもった手紙が佐敷小に届きました。

薩摩街道を楽しくウォーキング



小雨が降る中での出発で、傘をさしながらのウォーキングとなりました

第5回薩摩街道歴史ふれあいウォークが12月2日、水俣芦北管内と出水市・薩摩川内市の5つのコースを舞台に開催されました。佐敷太郎と津奈木太郎の2つのコースのスタート地点となった佐敷城跡には約200人の参加者が集まり、葦北鉄砲隊の号砲でスタートしました。

この日は朝からあいにくの雨模様となり参加者の大幅な不参加も懸念されましたが、5コースで約500人が参加し、雨がっぱや傘をさしてのウォーキングを楽しんでいました。コースを巡りながら案内人の歴史説明やうんちく話に熱心に耳を傾ける参加者もいました。

クリスマスツリー飾り付け

肥薩おれんじ鉄道佐敷駅でクリスマスツリーの飾り付けが12月7日に行われました。

飾り付けを行ったのは芦北幼稚園と計石保育園の園児16人。園児たちは佐敷駅に用意されたモミの木に自分たちが色紙で作ったサンタクロースなどを飾り付けました。脚立に上ったり先生に抱えられたりしながら高い所まできれいに装飾しました。また、クリスマスリースも作製しました。寒い中での作業でしたが、サンタクロースが来るように園児たちはクリスマスソングを口ずさみながら一生懸命飾り付けを頑張りました。



先生に抱えられ飾り付けをする園児

町民歴史講座！神社とお寺を見学



佐敷諏訪神社で説明を受ける受講生

町民歴史講座の現地見学会が12月15日、17人の受講生が参加し行われました。今年のテーマは「芦北の神社とお寺」。これまで2回の座学で神社とお寺の歴史を勉強しました。この日は佐敷・湯浦地区にある神社とお寺9カ所を見学しました。現地では、宮司や住職が各社寺の由緒や保管されている文化財について詳しく説明してくれました。普段知っているようでもあまり知らない絵馬や仏像の種類、各宗派の違いなど興味深い話ばかりで、受講生の皆さんはとて熱心に聞き入っていました。2月9日に開催される最終講座では、仏像についての講演会が予定されています。

水口宣之さん 30年勤続表彰



30年勤続スポーツ推進委員表彰を受賞した水口さん

芦北町スポーツ推進委員協議会会長の水口宣之さん（大岩2）が、長崎県立総合体育館で開催された第53回全国スポーツ推進委員研究協議会において30年勤続表彰を受賞しました。

水口さんは、昭和57年に旧芦北町体育指導委員になり、平成17年の旧田浦町との合併後も新芦北町の体育指導委員（平成24年度からスポーツ推進委員に名称変更）を務め30年にわたり芦北町のスポーツ振興に貢献されたことが認められての表彰となりました。「これからも、芦北町のスポーツ振興のために頑張ります」と水口さんは力強い言葉で話してくれました。

RKK学童駅伝大会 芦北トレジャークラブ3位入賞

熊本県民総合運動公園陸上競技場で12月1日、第12回RKK学童駅伝大会が開催されました。コースは陸上競技場周辺を周回する5区間8キロ。男子70チーム、女子57チームが出場しました。

芦北町からは男子の部に芦北トレジャークラブ陸上部の2チームが出場し、Aチーム（永松健人くん、村田海晟くん、國本大生くん、立道雅史くん、井川龍人くん）が見事3位入賞を果たしました。原田徹監督は「前は2位だったので優勝を目指していただけに残念でしたが、追い上げての3位は立派でした」と選手をたたえていました。



3位となった芦北トレジャークラブAチーム（左から村田くん、井川くん、立道くん、永松くん、國本くん）

的に狙いを定めて



的に集中して弓を射る選手

平成24年度芦北町弓道大会が12月2日、芦北町立弓道場で開催されました。16回目を数える本大会には熊本と鹿児島県の両県から120人が参加。競技は28メートル離れた直径36センチメートルの的に狙い、日頃の鍛錬の成果を競いました。団体戦と個人戦が行われました。成績は次のとおりです（町内関係者のみ表示。敬称略）。

- 個人戦 男子 2位 齊藤紀夫（芦北弓友会）
- 3位 桑野 了（同）
- 高校 優勝 藤崎美悠（芦北高校）
- 2位 辻田優衣（同）
- 3位 山田正大（同）

男性用下着を寄贈



日赤県支部芦北町分区事務長へ下着を手渡す鹿田さん(左)

鹿田衛さん(湯浦東)が12月27日、男性用の下着100組(200枚)を日本赤十字社熊本県支部芦北町分区(役場福祉課)へ寄贈しました。鹿田さんは町内の4中学校全ての男子生徒約200人に同様のトランクス型下着を寄贈しています。

日赤県支部芦北町分区は「災害が起こった場合に使用する救援物資として大切に保管し使用します。今回の寄贈に大変感謝しています」とあいさつし、鹿田さんは「災害による被災者の人たちに使ってもらえればありがたいです。人の役に立ててうれしいです」と話してくれました。

白岩地区に災害対策用機材を配備

白岩地区に災害対策用機材として発電機1台と投光器2台が配備され、町から地区への引き渡しが行われた。白岩地区は昨年7月12日の豪雨災害時に床上床下浸水など大きな被害を受けた地区のひとつです。床上浸水した白岩の実家の片付けに来ていた兵庫県姫路市の町田幸三郎さんが地元の役に立ちたいと自らのライブ活動で得た募金を町に寄附し、今回の機材の配備となりました。「これまで、夜中に可搬ポンプを稼働させるときなど暗くて作業が難しかったのがこの投光器のおかげで作業が格段にやすくなり安全に活動できます」と白石清区長が話してくれました。



発電機1台と投光器2台が引き渡されました

倉本サエさん祝100歳



祝を着て家族と記念撮影する倉本さん

倉本サエさん(大川内西)が12月30日に100歳の誕生日を迎えました。入所している新清苑で家族と新清苑の入所者、職員の皆さんによるお祝いがあり、竹崎町長が倉本さんへ慶祝金を交付しました。

入所者がお祝いに歌を歌い、にぎやかな誕生会となりました。「性格がとても温厚で、これまで叱られた記憶がありません。友達と楽しく話したり散歩したりして笑顔で怒ることなく過ごしてきたのが長生きの秘訣でしょうね」と長女の千代枝さんが話してくれました。倉本さんはバースデーケーキのろうそくの火を歌に合わせて吹き消し笑顔を見せてくれました。

高校生によるエコへの挑戦



アマモの繁殖方法の確立などについて発表する芦北高校林業科の生徒たち

「高校生によるECOへの挑戦2012in水俣・芦北」が12月17日、芦北町社会教育センターで開催されました。このセミナーは水俣病を教訓に世界に環境保全の大切さを発信することができる人材を養成すべく事業に取り組んでいる、みなまた環境塾が主催し行われました。東京大学名誉教授の大和田紘一さんと熊本大学准教授の山崎倫昭さんが、八代海の環境再生や熊大マグネシウム合金についての基調講演を行いました。その後、芦北高校林業科のアマモ再生活動の取り組みや水俣工業高校の電気自動車づくりなどの取り組みが発表され、若者の環境意識の高さに出席者は関心していました。

年末年始特別警戒・交通事故防止運動出発式

地域の治安維持強化のため、芦北警察署において12月21日、年末年始における特別警戒・交通事故防止運動出発式が行われました。式には防犯協会や交通安全協会、交通指導員会など9団体から約130人が参加しました。春野慎治署長が「年末年始は交通量が増え、交通事故が多発する傾向にあります。交通事故防止にご協力をお願いします」とあいさつ。式終了後にはパトカーや青パト隊が街頭パトロールに出発しました。1月3日までの期間、警察や交通、防犯関係団体による街頭指導や夜間パトロールが展開されました。期間中の芦北町交通事故件数は物損事故6件、人身事故0件でした。



出発式終了後、街頭パトロールに出発するパトカー

Jリーガーに負けないぞ



現役Jリーガーのボールさばきに翻弄(ほんろう)される子どもたち

第3回あしきたフットボールデーが12月22日、岩崎グラウンドで開催されました。サガン鳥栖で活躍する双子のJリーガー、黒木晃平選手と黒木恭平選手が保育園児から中学生までの約100人の参加者とミニゲームなどをして汗を流しました。この日は冷たい風が吹く中でのサッカー教室でしたが、サッカーボールを追って所狭しとグラウンドを駆け抜ける子どもたちは元気いっぱい。両選手のサッカーシューズやユニフォームが当たる抽選会も行われました。町サッカー協会の元山秀志会長は「Jリーガーと身近に接することでしか得られない経験を大事にしてもらいたいです。将来芦北町からJリーガーが育ってほしいです」と夢を語ってくれました。

平成 25 年度町県民税申告受付日程

月日	地区名	時間	申告会場	月日	地区名	時間	申告会場			
2/18 (月)	海浦	午前 9 時 30 分 ～正午	地域活性化センター (田浦) 2 階大会議室	2/28 (木)	市野瀬・國見	午前 9 時 30 分 ～正午	大野出張所 2 階大研修室			
	井牟田・波多島	午後 1 時 ～午後 4 時			大野	午後 1 時 ～午後 4 時				
2/19 (火)	小田浦 5～7	午前 9 時 30 分 ～正午		2/20 (水)	米田・丸山	午前 9 時 30 分 ～正午	きずなの里 トレーニング室			
	小田浦 1～4	午後 1 時 ～午後 4 時			湯東・湯北・豊岡	午後 1 時 ～午後 4 時				
2/20 (水)	横居木 ・田浦 3・4	午前 9 時 30 分 ～正午		2/21 (木)	大川内	午前 9 時 30 分 ～正午		3/4 (月)	宮崎・湯南団地	午後 1 時 ～午後 4 時
	田浦 1・2	午後 1 時 ～午後 4 時			高岡・古石	午前 9 時 30 分 ～正午			3/5 (火)	湯南
2/21 (木)	田浦町 1・2	午前 9 時 30 分 ～正午		2/22 (金)	伏木氏・花北 ・諏訪・花東	午前 9 時 30 分 ～正午		3/6 (水)		松生・大尼田 ・立川
	田浦町 3・4	午後 1 時 ～午後 4 時				午後 1 時 ～午後 4 時			2/25 (月)	上原・海路・高 田辺・内木場 ・簸瀨
2/25 (月)	吉尾・市居原	午後 1 時 ～午後 4 時		2/26 (火)	田川・桑原・八 幡・宮浦	午前 9 時 30 分 ～正午		3/8 (金)		向町・本町・新 町・上町・道川 内・乙千屋
	2/26 (火)	永谷・黒岩 ・大岩 2				午前 9 時 30 分 ～正午			2/27 (水)	鶴木山・計石
岩屋川内 ・大岩 1		午後 1 時 ～午後 4 時		2/27 (水)	白石・告・塩浸	午前 9 時 30 分 ～正午		3/12(火) ～ 3/15(金)		
2/27 (水)	天月・白木	午後 1 時 ～午後 4 時			2/27 (水)	大野出張所 2 階大研修室			午後 1 時 ～午後 4 時	3/11 (月)

●夜間申告受付
 期間 3月1日(金)～3月15日(金)(土日除く)
 時間 午後6時～午後7時
 場所 役場本庁舎 1階税務課

※出張申告期間中は、申告会場に職員が出ており、本庁税務課では少人数での対応になります。申告以外の用件で来庁する人も多い時期ですので、申告会場でない時の役場税務課での申告はご遠慮ください。お住まいの地区以外の申告受付日でも申

告できますので、各会場をご利用ください。それでも時間の都合がつかない人は、夜間申告受付や地区指定なしの期間をご利用ください。田浦基幹支所での申告受付は行っていませんのでご注意ください。

*問い合わせ先 税務課 住民税係 ☎(82)2511(内線123)

町県民税申告のお知らせ

申告受付期間 2月18日(月)～3月15日(金) (土日は除く)

※期間前の申告は受け付けできません

平成 25 年度町県民税は、平成 25 年 1 月 1 日に住民登録がある人の平成 24 年中の所得に対して課税されます。

また、この申告は町県民税だけではなく、国民健康保険税などを決定する資料や福祉、医療、教

育資金などの給付の資料、その他さまざまな申請のときに必要となる所得証明のものになります。期間中に必ず申告してください。

なお、税務署へ確定申告書を提出する人は、町県民税の申告をする必要はありません。

◆申告が必要な人

1. 勤務先から芦北町に給与支払報告書の提出がない人および年末調整が済んでいない人
2. 給与・公的年金以外に所得がある人（農業・不動産・配当・譲渡・雑所得など）
3. 2カ所以上から給与の支払いを受けている人
4. 給与所得者で、前年中に退職し再就職していない人
5. 扶養控除、医療費控除、その他諸控除の申告をする人
6. 税法上、誰の扶養にもなっていない人
7. 町外に居住する人の扶養親族となっている人
8. 住所や居所が町外にあり、町内に事務所や家屋敷を持っている人

※前年の収入が無かった人でも、国民健康保険税の軽減判定や所得証明の発行などその他行政サービスに税申告の内容が必要となる場合があります。

◆申告の際に必要なもの

1. 印鑑（認印可）
2. 所得を証明する資料（源泉徴収票、事業主の支払証明書、収支明細書など）
3. 各種控除を受ける人はその証明書・領収書（医療費、生命保険料、国民年金保険料など）
4. 障害者控除を受ける人は障害者手帳など
5. 所得税の還付申告をされる人は、本人名義の還付口座の分かるもの（通帳など）

※申告を円滑に行うため、医療費や農業経費などの領収書は、整理してご持参ください。医療費は人別に、農業などの経費は農業代や肥料代など種類別に合計してください。

税務署からのお知らせ

◎国税電子申告・納税システム「e-Tax」について

国税電子申告・納税システム「e-Tax」を利用することにより、所得税や消費税など国税の申告納税、法定調書の提出などの申請・届出が事務所や自宅に居ながらにして、インターネットで行うことができます。ぜひご利用ください。

*問い合わせ先 八代税務署 ☎0965(32)3141(自動音声案内)

保健センターだより

脂質異常症のお話

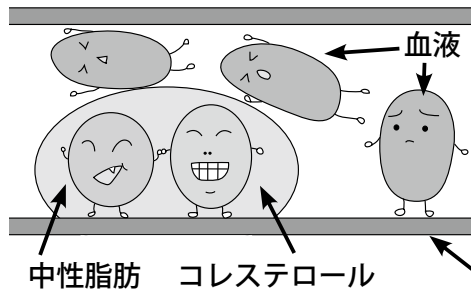
〜いつまでも若々しい血管を保つために〜

脂質異常症とは血液中のコレステロールや中性脂肪が多すぎる病気のことを言います。コレステロールは私たちの体を作る細胞膜やホルモンの材料であり、また中性脂肪はエネルギー源です。体にとってはなくてはならないものです。しかし、多すぎると動脈硬化（動脈の壁が厚くなったり、硬くなったりして血液の流れが悪くなったり、詰まりやすくなる状態）を進行させ、ついには心筋梗塞や脳梗塞などを発症させてしまう危険性があります。

表1は平成23年度特定健診の結果から保健指導基準値に該当する人の割合を示しています。熊本県全体と芦北町を比較するとLDLコレステロールとHDLコレステロールで基準値を超える人が多くなっています。自覚症状のない脂質異常症は血液検査で見つけるしかありません。早期に発見し、早く対処するためにも1年に1回は健康診断を受け、予防しましょう。

表1

検査項目	保健指導基準値	芦北町	熊本県
LDLコレステロール	120mg/dl以上	57.2%	53.1%
HDLコレステロール	40mg/dl未滿	6.0%	5.0%
中性脂肪	150mg/dl以上	18.4%	19.4%



脂質異常症の種類	予防のための食生活の注意点
LDL (悪玉) コレステロールが多いもの	LDLコレステロールは油や肉、魚などの食品に含まれるコレステロールからのものが3分の1、残りの3分の2はご飯や果物、甘いもの、アルコール、料理の油などの糖や脂肪を材料に肝臓で作られます。卵や肉、魚などの摂り過ぎがないか振り返りましょう。
HDL (善玉) コレステロールが少ないもの	ご飯やパン、めん類などの炭水化物などに偏った食生活になっていないか振り返りましょう。
中性脂肪が多いもの	油や肉、魚などの食品に含まれる脂肪の摂り過ぎだけでなく、ジュースや菓子類(砂糖)、果物、お酒やビールなどの単純糖質の摂り過ぎも中性脂肪を増やします。

*問い合わせ先 保健センター ☎(86)0200

芦北に残る文化遺産

⑳ 佐敷龍

芦北町指定有形文化財(工藝) 昭和60年8月26日指定

一昔前は正月の風物詩としてたこ揚げがよく行われていました。たこの起源は中国とされており、はじめは戦争の道具や占いなどに使われていました。たこ揚げが正月の遊びとして流行し始めたのは、今から200年から250年くらい前の江戸時代後期といわれています。



▲セミの顔をした佐敷龍

◀ホラ貝。縦の長さが2.5m 横が1.5mもあります



たこがあります。ホラ貝やセミの顔をしたもの、細川藩と島津藩の家紋を表したもの、三方(お供え物の台)に菱餅を重ねた形の凧、屋号を記した小さなたこの6張があり、社会教育センターに展示してあります。これらは元々佐敷新町の遠山花枝さん宅(屋号:鍛冶屋)の屋根裏に保管されていたもので、1985(昭和60)年に町に寄贈されました。佐敷龍は、1898(明治31)年頃に作られたといわれています。当時の人々は、たこの裏にあるツルが風を切ってブルブルと大きな音を出すことを競っていたそう、佐敷町の比較的裕福な町人たちが色々な趣向を凝らして製作していた様子が思い浮かびます。佐敷龍は、向町の裏手の稲刈りの済んだ水田や佐敷川の河原を中心に揚げられていたそうです。たまには糸が切れて海浦や湯浦まで飛んでいってしまう、探すのが大変だったという話も伝わっています。

灯台下暗し、皆さんの家の倉庫や屋根裏には、もっと古いたこが眠っているかもしれませんよ。
*問い合わせ先
生涯学習課 文化振興係
☎(87)1171(内線145)

けい 景さんの 芦北チョアチョア記

芦北町国際交流員 (第8回) 李允景(イ・ユンギョン)

アンニョンハセヨ! セへ、ポック、マニパドゥセヨ(あけましておめでとうございませう!) 皆さんの新年をどのように迎えられるましたか。韓国では元日のことを「ソルラル」と言います。陽暦の1月1日より、昔からの風習どおりに旧暦のソルラルを本格的な元日だと思ふ人が多いです。旧暦は毎年日にちが変わるので、今年のソルラルは、2月10日になります。ソルラルには「ソルビム」という新しい服を着て親戚一同が故郷に集まります。そして「チャ



▲「ソルビム」を着て遊ぶ子どもたち

レ(先祖の祭事)を行います。チャレが終わったら、目上の人に「セベ(お辞儀)」をし、「トックタム(相手の幸せを祈るあいさつ)」を交わし、お年玉をもらいます。お年玉をもらう風習は日本と似ていますね。 代表的な食べ物には日本のお雑煮と似ている「トッククック」があります。牛肉のスープにもちを入れた煮込んだもので、これを食べるのとひとつ年を取るといいます。子どものころは早く大人になりたいくて何杯も食べた記憶が韓国人なら誰でもあると思います。韓国は数え年(生まれた年を1歳とし、新年になると1歳を加える)なので、1月1日になったら誕生日に関係なく、1歳年をとります。うれしいことに私は早生まれなので、日本では韓国より2歳若いです(笑)。 今年最初の活動として、1月25日(金)午前10時から地域活性化センターで韓国の伝統衣装を試着体験(女性限定)する「アンニョン韓国」を開催しますので、参加を希望する人は芦北町国際交流協会事務局までお申し込みください。今年も芦北町の国際交流員として頑張ります。皆さんにとって元気いっぱい的一年になりますように♥

第56回芦北マラソン大会結果

◆12月9日 佐敷中〜田川

入賞者(敬称略)

- 【小学生男子3km】
 - ①井川龍人(佐敷小6年) 10分30秒
 - ②村田海晟(佐敷小6年) 11分10秒
 - ③立道雅史(佐敷小6年) 11分35秒
- 【小学生女子3km】
 - ①山内愛里(内野小6年) 12分46秒
 - ②田中志歩(大野小4年) 12分50秒
 - ③元村巴南(佐敷小6年) 13分23秒
- 【中学生男子5km】
 - ①田爪 陽(湯浦中2年) 17分32秒
 - ②山内貴之(湯浦中3年) 17分45秒
 - ③平塚大祐(田浦中3年) 17分50秒
- 【中学生女子3km】
 - ①本郷未来(田浦中1年) 11分44秒
 - ②小田恵衣(湯浦中2年) 12分29秒
 - ③佐藤礼奈(湯浦中2年) 12分33秒
- 【一般男子10km】
 - ①大島博文(芦北陸協) 36分13秒
 - ②森山泰宜(芦北陸協) 38分16秒
- 【一般男子30歳以上5km】
 - ①木福勝則(芦北陸協) 21分29秒
- 【一般男子29歳以下5km】
 - ①山内 弦(芦北高2年) 17分00秒
 - ②林田英一(芦北高3年) 18分40秒
 - ③塩内祐樹(芦北高2年) 20分36秒
- 【一般女子3km】
 - ①後藤小葉美(芦北高2年) 12分30秒

水俣病総合対策事業
健診事業

平成24年度から、熊本県および鹿児島県において、昭和49年12月31日以前に1年以上、水俣湾またはその周辺水域の魚介類を食べたことに伴い、健康に不安を感じられる人で、「水俣病被害者の救済及び水俣病問題の解決に関する特別措置法」の救済措置の方針に基づく救済措置の申請を行わなかった人を対象に、年1回の無料健診事業を開始します。

健診事業内容

診察、問診、身体測定、血圧測定、尿検査、血液検査、視力検査、聴力検査、心電図

健診時期 2月～3月

申込期限 1月31日(休)

※期限日以降に申し込みの人は、平成25年度の受診となります。

申込用紙設置場所

住民生活課 環境対策室

▼健診場所 熊本県総合保健センター、水俣市立総合医療センター、上天草市立上天草総合病院、天草郡市医師会立天草地域医療センター

*問い合わせ先
熊本県水俣病保健課

☎096(333)2304

澤田平氏講演会

テレビ番組「開運！なんでも鑑定団」に出演している鑑定士澤田平氏を招いての講演会を開催します。芦北町で発見された明治時代に郵便局長が携帯していた郵便保護銃の話のほか、鉄砲が日本に与えた影響についてなどの興味深い内容となっておりますのでぜひお越しください。

▼日時 1月26日(出)

午後6時30分～

▼場所 地域活性化センター(田浦)

講演内容

演題「わが町で郵便保護銃発見！」「銃」が与えた歴史をたどる

*問い合わせ先

芦北町社会教育センター

☎(82)2213

日曜日労働相談

県では、3月までの第2日曜日に特定テーマごとの日曜日労働相談を実施します。

相談日・内容

【2月10日(出)】未払い賃金(未払い残業代)について

【3月10日(出)】解雇、退職勧奨・退職、退職金について

▼相談時間 午後1時～4時まで

▼相談方法 来所または電話

芦北町防犯協会書記の募集

▼募集人員 1人

▼条件 昭和59年4月1日から平成7年4月2日に生まれた人

▼場所 芦北警察署内

▼勤務内容 防犯協会事務

▼申込期間 1月28日(月)

～2月8日(金)

※勤務条件や試験内容などの詳細は問い合わせください。

*問い合わせ先

芦北町防犯協会事務局

(芦北警察署内)

☎(82)3110

田浦子育て支援センター 2月の行事

- 1日(金) 節分(豆まき)
- 5日(火)～15日(金) カレンダー作り
- 21日(木)～28日(木) ひな人形作り
- 26日(火) 身体測定・誕生会

※支援センターは未就園児と保護者なら誰でも利用できます。一時保育も行っています。

◆センター利用時間 毎週月曜日～金曜日
午前9時30分～正午 午後2時45分～5時15分

*問い合わせ先 田浦子育て支援センター
☎(87)0034

事業主の皆さん
労働保険は加入していますか

事業の種類や規模に関わりなく、農林水産業の一部を除いて労働者を一人でも雇用している事業主は、労働保険への加入が義務付けられています。病気がかかった場合に必要なる労災保険給付が受けられ、また、リストラや倒産などにより失業した場合の失業給付、在職中における育児・介護休業給付などが受けられます。加入をしていない事業主は、速やかに加入手続をお願いします。

*問い合わせ先

八代労働基準監督署

☎0965(32)3151

健康セミナー

健康食品・サプリメントの正しい利用法をテーマに健康セミナーを開催します。

▼日時 1月26日(出)

午後2時30分～4時30分

▼場所 水俣病情報センター

*問い合わせ先

環境省

国立水俣病総合研究センター

国際・総合研究部

☎(63)3111

平成25年住宅・土地統計
調査の標語募集

平成25年10月1日を調査日とする住宅・土地統計調査の実施にあたり、標語(キャッチコピー)を募集します。

▼応募方法 はがきか電子メールに

作品・氏名・性別・年齢・住所・電話番号・職業(小中高生の場合は学校名、学年)を記入し、送付・送信してください。

*申込・問い合わせ先

〒162-8668

総務省統計局国勢統計課

住宅・土地調査広報担当

電子メールアドレス..

yutakuhogo@soumu.go.jp

☎03(5273)1005

交通遺児等育成資金の貸付・
介護料支給のご案内

【交通遺児等育成資金貸付】

▼対象者 自動車事故により死亡または重度の後遺障害が残った人の子ども(0歳～中学校を卒業まで)を

対象とし、その保護者の生活状況が一定の要件(住民税の非課税など)に合致する人。

▼貸付金額(対象者一人に対して)

・貸付と同時に一時金 15万5千円

・貸付期間中 月額 2万円

・小中学校入学時に入学支度金

4万4千円

▼貸付期間 貸付決定の月から中学卒業の月まで

▼利子 無利子

▼返還方法 一括返還または、20年以内の均等割賦(月賦・半年賦・年賦)による返還方法を選択。高校・大学に進学した場合、在学期間は返還猶予できます。

【介護料支給】

▼対象者 自動車事故で「脳」、「脊髄」、「胸部臓器」を損傷し、重度の後遺障害を持ち「常時」または「随時」の介護が必要となった人。

▼支給額

○常時要介護の人(月額)

5万8,570円

○随時要介護の人(月額)

2万9,290円

～5万4千円

*問い合わせ先

自動車事故対策機構熊本支所

☎096(322)5229

県環境センター2月イベント

【①リ・ガラスアート②化石レプリカを作ろう】

廃ガラスを砕いた粒(カレット)を再利用して絵を描く「リ・ガラスアート」やアンモナイト・恐竜の歯など大昔の生物の化石を復元するレプリカ作りを通して、ごみ問題や地球の大切さについて考えるイベントです。

▼日時 2月10日(出)

○リ・ガラスアート 午前10時～正午

○化石レプリカ 午後1時～2時

▼場所 熊本県環境センター

▼募集 各30人程度(先着順)

▼参加費 無料

▼申込期限 2月9日(出)

【大人の裂き織り教室】

裂き織りとは、不用になった服やハンカチなどの古布を裂き、ひも状にして織機で折り込み、再び布として使えるようにする環境に優しいものです。初心者も経験者も楽しめるコースを用意しています。

▼日時 2月17日(出)午前9時30分～

▼場所 熊本県環境センター

▼募集 10人程度

▼参加費 無料

▼申込期限 2月10日(出)

◆申込方法 ①住所②氏名③電話番号

社会教育センター
展示室内

社会教育センターの展示室では、町民講座の作品を展示しています。

【竹工藝教室による竹工藝】

▼期間 1月25日(金)～3月13日(水)

*問い合わせ先

芦北町社会教育センター

☎(82)2213

芦北警察署

☎(82)3110

110番は正しく利用しましょう
11月10日は110番の日です



●110番は「緊急時の通報」の電話番号です

- ・事件、事故などの緊急時に使用してください。
- ・相談事や照会など、急がない要件は、警察相談電話（#9110）または芦北警察署に電話してください。

●110番するとき

- ・なにが：何があったか
- ・いつ：何時頃あったのか
- ・どこで：場所、目標
- ・などを落ち着いて話してください。その他必要なことは係員がお尋ねします。



●いたずら電話は絶対にやめてください

いたずら電話や不要な電話がかかっている間に、本当に必要な緊急の110番通報ができず、事件・事故の解決や人の生命、身体に関わる大きな障害になります。

芦北消防署

☎(82)4731

お餅などによる窒息事故に注意！

この季節は、お餅などによる窒息事故が多くなります。特に幼児や65歳以上の高齢者に多く発生していますので、十分注意して食べましょう。

●予防法

- ・一口大の大きさに切ってよく噛んで食べましょう
- ・お茶や水などの水分を取りながら食べましょう
- ・家族と一緒に食べましょう

●のどに詰まった時の対処法

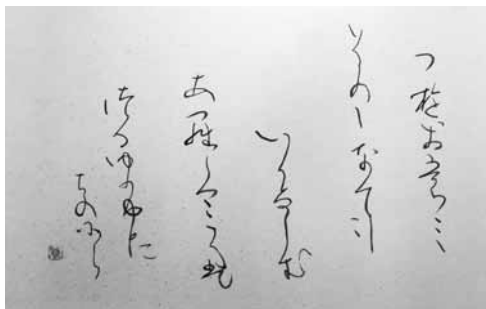
- ・のどをかきむしるチョークサインを見たら窒息を疑い119番に電話し、救急車を要請しましょう
- ・自分で咳ができる場合は強く咳をさせましょう
- ・肩甲骨と肩甲骨の間を、手のひらの付け根で強く迅速に叩きましょう
- ・口の中に異物が見えたら取り除きましょう
- ・反応がなくなったら、胸の真ん中を1分間に100回以上のリズムで5cm以上押しましょう
- ・異物が取れるまで、または救急車に引き継ぐまで続けましょう



明けましておめでとうございませう。年末年始はいかがお過ごしでしたか▼年末年始は故郷を離れて暮らす人たちが帰郷する機会でもあります。同窓会を開く人も多いのではないのでしょうか。私も中学の同級生と久々に再会し、酒を酌み交わしました。中学時代と見かけがほとんど変わらない人もいますが、誰だか全く分からない人もいます。私も分からないと言われシヨククを受けました▼今月号の表紙の写真は書き初めです。子どもころに書道の授業で書き初めを書いた記憶があります。大人になってからはさっぱりです。書き初めの他にも正月の風物詩のひとつにたこ揚げがあります。たこ揚げも最近ではあまり見かけなくなりましたが、今年は子どもたちが田んぼでたこ揚げをしている光景を見かけました。こういう正月文化も大切にしなければなりませんね▼今年、皆さんはどんな計画や目標を立てましたか。一年の計は元日にあり。目標に向かって今年も前向きな気持ちで頑張っていきましょう。今年もよろしくお願ひします(寺川)

書道(かな)

【町民講座】



「なごころ」
つゆおもひ
そのなでしこ
いかならむ
あらくみえつる
ゆふだちのそら

齊藤雅子

短歌

【芦北短歌会】

不眠の夜の思考回路に照り翳るうたことば幾つ捉え難しも
古本 央子
膝の上猫丸まれば伝いくる温もり優し冷える夕べは
農頭 圭子
冴えざえと月光もるる厨ではセットされたる炊飯器の音
山下よし子
北朝鮮ミサイル成功せしテレビ数多の民の餓死者匿して
宮島 住子
山茶花のつばみ一輪厨辺に家事の合間の我の再生
宮嶋 良子

【田浦短歌会】

冬草の青む刈田のひとつ朝の陽を呼び光る薄ら氷。
林 良子
きつぱりとすべてを主治医の先生にまかせんと決め楽になりたり
竹本ナミエ
神域のグラウンドゴルフ場整備終えみなの打球のホールインワン
満田 圭一
傘の柄でガードレールを叩きゆく下校の子らは天使のごとし
山下キミ子
庭先の花まで食べる鴨とよくよく見れば外来種らし
駒走 チミ

お誕生おめでとう

H24.12.1～12.31 受付分(敬称略) 受付件数6件

氏名	出生日	性別	保護者	区
松井 勝徳 <small>かつのり</small>	12. 6	男	謙武	芦北
宮本 麗奈 <small>れな</small>	12. 6	女	英治	新町
福澤 叶菜 <small>かんな</small>	12.13	女	一成	田浦町3
下田 陽翔 <small>はると</small>	12.13	男	大輔	芦北
中村 亜依梨 <small>あいら</small>	12.15	女	慎太郎	花岡西
山下 秀人 <small>ひでと</small>	12.18	男	真也	大川内東

※本町窓口へ届出をした人で、承諾を得た人を掲載しています。町外に提出した人で、掲載を希望する場合は、役場総務課秘書広報係までご連絡ください。

ご冥福をお祈りします

H24.12.1～12.31 受付分(敬称略) 受付件数31件

氏名	死亡日	年齢	区
鶴田 フミ子	12. 1	89	宮崎
宮口 スミ子	12. 2	76	道川内西
坂口 富雄	12. 2	81	丸山
大胡 ヨシ子	12. 2	85	湯浦北
江口 ツギエ	12. 3	81	白岩
立尾 ミサオ	12. 3	96	國見
大平 正昭	12. 5	78	湯浦南
深水 國龜	12. 9	93	向町
大矢 未彦	12.11	94	福浦
宮尾 喜徳	12.11	85	大岩一
山下 勇	12.11	81	花岡西
平松 マスエ	12.11	95	伏木氏
村田 ハツ子	12.11	87	小田浦1
田口 キシ	12.11	97	永谷
橋本 ツヨ	12.12	88	大岩一
石本 オサメ	12.13	87	田浦2
長迫 芳一	12.15	95	天月
板床 ツユ子	12.15	93	海浦2
田上 ハツヨ	12.15	95	湯浦東
元村 貞子	12.17	82	計石東
岡本 ヨミ子	12.20	90	大野
松本 緑	12.27	89	市居原
緒方 ミスエ	12.27	86	湯浦東
一川 シズモ	12.28	98	市野瀬
木村 チヨノ	12.29	92	田浦町2
山崎 智	12.31	86	古石北

※本町窓口へ届出をした人で、掲載の承諾を得た人を掲載しています。

人口の動き (H25.1.1 現在) ()内は前月比

人口	19,520人	(-34)
男	9,114人	(-11)
女	10,406人	(-23)
65歳以上	7,114人	(+4)
世帯数	7,555世帯	(-15)

2013 芦北うたせマラソン大会参加者募集



3月24日(日)
午前10時スタート

- ▶ 日時 3月24日(日) 午前8時受付 午前9時開会式 雨天決行
- ▶ 会場 芦北海浜総合公園 ▶ 種目 ハーフマラソン、10km、5km、3km
- ▶ 参加資格 男女ともに小学4年生以上の健康な人 (オープン参加は認めません)
- ▶ 参加料 一般3,000円、高校生1,500円、小中学生1,000円
- ▶ 申込方法 商工観光課に備え付けの専用参加申込用紙(払込取扱票)に必要事項を記入し、参加料を添えて指定口座へ振り込んでください。

▶ **申込期限 2月22日(金)** *申込・問い合わせ先
芦北うたせマラソン大会実行委員会(商工観光課内)
☎(82)2511(内線172)

第3回グリーンカーテンコンテスト

緑あふれる快適な生活空間を創り地球温暖化の防止に貢献することを目的に実施しているコンテストです。本年度は28点の応募があり、審査を経て12月7日に表彰式を行いました。入賞者は下記のとおりです。(敬称略)

団体の部

1位	芦北幼稚園
2位	計石公民館
3位	(株)リュウショウ
特別賞	大野中学校
特別賞	(資)古賀商店

個人の部

1位	道園勇(湯浦南)
2位	立作美智子(諏訪)
3位	木野初子(花岡西)
特別賞	道崎林(海浦2)
特別賞	勝田靖(天月)



◀ 芦北幼稚園 (団体の部1位)



◀ 道園勇さん宅 (個人の部1位)



薩摩街道ふるさと湯の香ざらりー
町民の皆さんが制作した作品が湯浦地区に展示してあります。その一部を紹介します。

*問い合わせ先
星野富弘美術館
☎(86)1600

◇「雪の上の足跡展」のろくてもいいじゃない、ゆっくり歩こう〜」
○休館日 第2・4月曜日(祝日除く)
○開館時間 午前9時〜午後5時



▲「寒椿」2009年

芦北町立星野富弘美術館だより
美術館では作品の展示だけでなく「来館者の声」も展示したいと考え、季節の花をかたどった小さな用紙に感想を書いていただいています。1月からは「梅の花」に感想を書いてもらっています。